

待機児解消へ 共産党の提案みのる

国有地を活用して認可保育園を増設

第2回

定例会

（6月）

代表質問には古館和憲議員が立ちました。また、保育園の待機児解消にもとりくみ、国有地の活用などがはじまりました。

青少年健全育成条例の改悪をストップ



代表質問にたつ古館都議 6月8日

第2回定例会では、前回から継続審査となつた東京都青少年健全育成条例の改定案が、日本共産党、民主党、生活者ネットの反対で否決されました。知事提案の条例案が否決されたのは、石原都政では初めてです。

性的感情を刺激する図書や子どもが買ったりしないよう規制しています。こうした制度は一般的に必要ですが、改定案は、漫画やアニメでの性に関する表現への規制を、無限定に拡大する危険をもつものでした。このため漫画家や出版者関係の団体だけでは

なく、日本ペンクラブや劇作家協会、さらに東京の二つの弁護士会や日本弁護士連合会なども反対を表明していました。

第4回定例会への再提出は許せません

日本共産党都議団は、こうした改定案の問題点を代表質問や委員会などで浮き彫りにしました。そして、都がやるべきことは、年齢に応じた性教育や、情報の批判・活用能力を養うことだと主張しました。

改定案に対して、自民党、公明党は、修正案を出しましたが、原案に賛成しました。民主党は反対しましたが、改定案反対の都民の請願・陳情を何も理由を示さずに不採択としました。日本共産党は採択を主張しました。



石原知事は「改定案の趣旨は正しいので、第4回定例会に出し直す」と表明しています。日本共産党都議団は、今後とも改悪案の復活を許さず、都民のみなさんと力をあわせてとりくんでいきます。

世田谷、東村山で実現

保育園が足りない、でも、建てる土地がない——そんな悩みを解消するため、日本共産党が提案してきた「使っていない国有地の活用」が実現しました。

世田谷区が、国有地を借り、認可保育園を新しく二つ整備するのです。この土地

は、ともに公務員官舎の跡地で、駅から近くて便利です。

また、東村山市でも国立施設全生園の敷地を借用し、認可保育所を整備することになりました。

子育て中の母親からも、「すごい。もっと増やして」との声が寄せられています。

国会や区市議会と力あわせ

共産党都議団は、独自調査で、今年4月時点での待機児が約1万7千人にものぼることを発表。石原知事に、認可保育園増設の

スピードアップと大幅増、都有地、国有地の活用を求めて申し入れをおこないました。国会では、小池晃参院議員（当時）が、

都内には、23区だけでも東京ドーム130個分の未利用国有地が残されています。これをいかして、さらに各地に認可保育所をつくるため、力をあわせましょう。

未利用地は
ドーム130個分



認可保育園をつくらうとしている世田谷区内の国有地（上）
待機児解消を求めて記者会見する日本共産党都議団（右）

福祉・くらし充実へ 古館都議の提案

○国民健康保険加入者の実態を調査し、国と都の公費負担を増やして保険料の値下げを
○患者に大きな負担となっているガン治療を都の責任で無料に
○中小業者の工場の家賃への直接補助を
など